

2019 年 度 事 業 報 告 書

2019年4月1日から 2020年 3月31日まで

特定非営利活動法人 FENICS

1 事業実施の方針

分野をこえた研究者フィールドワーカーをつなげていくとともに、そこへ世界の自然、文化に関心のある様々なスペシャリスト、学生、一般市民を巻き込みさまざまな情報、技術、知識の交換や普及につとめネットワーキングをさらに促進、情報発信につとめていく。

昨年度に試みた高校の先生とのコラボを果たしたイベントをきっかけに、FENICS理事の一人が高校へ講義に出向くことになっている。またフィールドワーカー養成のため、FENICS YOUTHを名づけ学部生へのフィールドワーク教育を学芸大と法政大にて行うことになっている。本FENICS100万人のフィールドワーカーシリーズ(全15巻、古今書院)は4巻、をはじめ8、9、10巻の発刊や既刊のテーマをもとに、それぞれのトピックに関心のある学生や各界のスペシャリスト、一般市民とイベントで共有しイベントを実施しさらなるネットワーキングの拡大に努める。

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費 (千円)
(1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワーキングにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。 (2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワーキングの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。 (3)フィールドワーカーの経験に基づく知識、スキルに対する保護支援事業 (4)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域での環境保全支援事業 (5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業 (6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業 (7)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する国際協力コンサルタント事業	「オープンアカデミー世界を歩く」 FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズの『フィールドに入る』、『フィールド写真術』をもとに、フィールドワークとは何か、どのように行うのか、経験豊かなフィールドワーカーがひも解く。これからフィールドワークをしてみたいと考えている人、普通の旅行だけでは物足りない人、どのように異文化、異なる土地に踏み入れたらいいのかその方法を知りたい人等、好奇心をどのようにあるテーマにつなげていくか等、具体例から世界の歩き方、を学んでいく。	4月8日 (月)4 月15日 (月)4 月22日 (月)5月 3日(月) 5月20日 (月)5 月27日 (月) 6月5日 (水)6 月12日 (水)6 月19日 (水)6 月26日 (水) (水)	東京外国語大学	3	フィールドワークに関心のある研究者、教育者、一般市民 20人	0
	1) イントロダクション:フィールドワークしよう 2) アフリカの村に入る 3) アフリカへ子連れで行く (椎野 若菜) 4) 南極に行きたい 5) 南極に入る 6) 南極で調査する (澤柿 教伸) 7) インドの砂漠に入る 8) 佐渡島に入って地域と動く 9) フィールド写真で世界を捉える (小西 公大) 10) まとめ:あなたもフィールドワークしよう 椎野 若菜					

<p>1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークの促進と産学連携の可能性,新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識,スキルに対する保護支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p>	<p>FENICSサロン @アフリカ学会 「フィールドワーカーの研究と育児：院生・PDの場合」 日時：5月18日 15：00～16：00 場所：京都精華大学清風館2階C207</p> <p>はじめに 椎野若菜（東京外国語大学AA研）</p> <p>大平和希子（日本学術振興会DC2/東京大学 FENICS） 「住まいは富山、大学は東京、フィールドはウガンダ：博士課程と育児の両立」</p> <p>稲井啓之（日本学術振興会PD/国立民族学博物館 FENICS） 「外国人研究者の妻との子育てと仕事」</p> <p>四方篝（京都大学 FENICS） 「データでみるアフリカ研究における男女共同参画：京大ASAFASアフリカ専攻の事例」</p>	<p>2019. 5. 18 (土)</p>	<p>京都精華大学</p>	<p>4人</p>	<p>フィールドワークに関心のある研究者、教育者、一般市民 20人</p>	<p>0</p>
<p>1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークの促進と産学連携の可能性,新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識,スキルに対する保護支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p>	<p>FENICSサロン 東北大 2019. 6. 1(土) フィールドワーカーとライフイベント：子連れフィールドワーク</p> <p>プログラム はじめに 椎野若菜（東京外国語大学AA研）</p> <p>山口未花子（北海道大学） 『家族フィールドワーク』の可能性：カナダ、ニューコン準州での経験から」</p>	<p>2019. 6. 1(土)</p>	<p>東北大</p>	<p>2人</p>	<p>フィールドワークに関心のある研究者、教育者、一般市民 20人</p>	<p>0</p>

<p>(1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識、スキルに対する保護支援事業</p> <p>(4)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域での環境保全支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p> <p>(7)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する国際協力コンサルタント事業</p>	<p>FENICSサロン 達人・変人ときわめる「川」～水流ランナー、人類学、フォトグラフィー</p> <p>河川沿い走る、水流ランナーとしてプロとなった二神浩晃さんと、野中健一さん（地理学）、大石高典さん（人類学）、藤元敬二さん（写真）、とそれぞれの専門から川に関わってきたフィールドワーカーと川へのこだわり、見方、関わりかたを交えま</p> <p>す。</p> <p>日時：2019年6月9日（日）14:30～17:30</p> <p>登壇： 二神浩晃（水流ランナー） 野中健一（長良川・メコン河／地理学・自然人類学／立教大学） 大石高典（コンゴ川／生態人類学・東京外国語大学） 藤元敬二（荒川／写真家）</p>	<p>2019.6.9(日)14時30分～</p>	<p>シャトール小金井codolabo studio</p>	<p>5人</p>	<p>フィールドワークに関心のある研究者、教育者、一般市民 30人</p>	<p>0</p>
<p>1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識、スキルに対する保護支援事業。</p> <p>(4)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域での環境保全支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p>	<p>「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」上映会</p> <p>日本・韓国・中国で葬礼のフィールドワークを行う研究者の記録映像と、世界各国のさまざまな葬礼を写した映像アーカイブを比較し、さまざまな死生観について考える上映会を開催。</p>	<p>2019.9</p>	<p>ポレポレ座（東中野）</p>	<p>3人</p>	<p>フィールドワークに関心のある研究者、教育者、一般市民 50人</p>	<p>0</p>

<p>(1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークングにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。及び</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークングの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p>	<p>FENICSシリーズ『社会問題と出会う』講義</p> <p>桐朋女子高等学校 地理AⅢSDGs「世界を変えるための17の目標」1. ディスカッションで学ぶ世界の諸問題の事例</p>	<p>2019.10.15</p>	<p>桐朋女子高等学校</p>	<p>2人</p>	<p>フィールドワークに関心のある教員、高校生 20人</p>	<p>0</p>
<p>1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークングにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークングの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識、スキルに対する保護支援事業。</p> <p>(4)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域での環境保全支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p>	<p>FENICS EVENT 第9巻『経験からまなぶ安全対策』出版記念イベント</p> <p>天変地異、病気、怪我、事故、政変、など、予想せぬさまざまな危険からどう身を守るのか。「予防」と「対策」をテーマにした実用的な本書の内容を中心に、個人レベルから組織レベルまで、安心安全のための知識と方法と教訓を考えた。</p> <p>澤柿教伸・野中健一ほか</p>	<p>2019.12.7</p>	<p>武蔵野公会堂</p>	<p>8人</p>	<p>フィールドワークや世界の社会問題に関心のある研究者、学生、一般市民 50人</p>	<p>13</p>

<p>1)研究者フィールドワーカーの各分野の知識、スキルの伝達交換を、分野を横断したネットワークキングにより活性化し実社会への応用を模索する情報化社会の発展を図る事業。</p> <p>(2)各分野のフィールドワーカーと産業界等のネットワークの促進と産学連携の可能性、新しい雇用や事業の可能性を探る事業。</p> <p>(3)フィールドワーカーの経験に基づく知識、スキルに対する保護支援事業。</p> <p>(4)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域での環境保全支援事業</p> <p>(5)日本でのアフリカやアジア等を初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地で行われている調査研究の理解促進のための情報発信事業</p> <p>(6)アフリカ、アジア等の発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する調査研究事業</p> <p>(7)アフリカを初めとする発展途上と呼ばれる地域、あるいは極地に関する国際協力コンサルタント事業</p>	<p>会員にメールマガジンを発行（会員がログインできるウェブサイトにも掲載）</p>	<p>2019年 4月25日 5月25日 6月25日 7月25日 8月25日 9月25日 10月25日 11月25日 12月25日 2020年 1月25日 2月25日 3月25日</p>	<p>ウェブ サイ ト上</p>	<p>10人</p>	<p>フィールドワークに関心のある大学生、大学院生、一般市民 250人</p>	<p>0</p>
--	--	---	--------------------------	------------	---	----------